

教 科	音 楽	学 年	3 年
-----	-----	-----	-----

【教科の目標】

- ・仲間と協力して表現をつくりあげる音楽活動の喜びを体験することを通して、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- ・曲想や背景、楽曲構造を理解させ、創意工夫を生かした音楽表現をさせる。
- ・多様な時代や国の音楽の学習を通して、音楽が人々の生活や文化に果たす役割について考えを深めさせる。

【使用教材・副教材・使用教室・指導形態】

使用教材：音楽の教科書（教育出版）、合唱譜、ファイル
 使用教室：第1音楽室、第2音楽室
 指導形態：一斉指導、グループ活動

【評価の観点と方法】

	評価規準	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・ワークシート ・観察 ・実技テスト ・定期考査
思考・判断・表現	・知識・技能を生かし、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫している。 ・音楽を評価しながら、よさや美しさについて説明している。	・ワークシート ・観察 ・実技テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、体験を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこうとしている。	・観察 ・ワークシート

【授業の進め方と学習のポイント】

- ・音楽を聴くときは、いつも「どのような特徴があったか」、「どのような感じがしたか」を意識して聴き、言葉にして表現してみましょう。
- ・音楽を表現するときは、基本的な技能の習得だけでなく、「意思の強さを伝えるために、ここははっきりと発音して歌おう」というように、曲の思いや意図を表現するために創意工夫をしよう。
- ・授業では皆さんの発言を取り入れながら進めます。是非積極的に挙手して発言しましょう。また、仲間の意見もメモし、表現の幅を広げましょう。
- ・提出期限を守り、忘れ物がないよう持ち物を確認しましょう。

【家庭学習の進め方】

- ・教科書やワークシートを見て、授業で学習した内容を復習しましょう。
- ・実技は、基本的な歌唱方法や表現の工夫を意識して練習しましょう。音程や歌詞は覚えましょう。
- ・課題は丁寧に取り組み、その時の発見・気づきを大切にしましょう。

【年間指導計画（音楽）】

	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	2	正しい発声を確認しよう。 ・音楽科のルール、合唱の基 本、楽典の基礎 ・発声練習	・基礎の姿勢、表情、発声方法	・音楽の基礎知識を身につけて、多様な表現 に生かす。 ・歌唱の正しい姿勢と発声方法を身につけ る。
5月				
6月	3	音楽の特徴や背景を理解し て、その魅力を味わおう。 「ブルタバ」	・情景と、音楽の関わり ・作曲の時代背景	・オーケストラの音色や変化する曲想を理解 させる。 ・作曲者の思いを感じ取りながら味わう。
7月	3	拍子や強弱、フレーズを感じ ながら指揮をしてみよう。 ・「花」	・拍子の種類 ・指揮法（腕の使い方） ・指揮の表現について	・指揮の基本を学び、豊かに表現する技能を 身につける。 ・曲想や雰囲気を理解し、音楽表現を工夫す る。
9月	1 2	学習発表会に向けて ・合唱曲	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり ・パート練習の仕方 ・楽曲の基礎知識 ・旋律、強弱、歌詞の意味につ いて	・歌詞の内容や曲想を感じ取らせ、表現を創 意工夫させる。 ・パート練習の仕方を習得させる。 ・声部の役割を理解させ、全体の響きを考え て表現させる。
10月	3	ポピュラー音楽の特徴を理 解して、その魅力を味わおう 「ポピュラー音楽」	・時代背景と音楽の関わり ・生活や社会における音楽の位 置づけ	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、 他の芸術との関わり について理解する。 ・生活や社会における音楽の意味や役割につ いて考え、音楽のよさや美しさを味わって 聴く。
11月	2	・世界の諸民族の音楽の特 徴を理解して、その魅力 を味わおう 「世界の諸民族の音楽」	・我が国や郷土の伝統音楽及び 諸外国の様々な音楽の特徴 について	・伝統音楽及び諸外国の音楽の特徴について 理解する。 ・音楽の多様性について考える。 ・音楽のよさや美しさを味わう。
12月	3	フレーズや速度の変化を生 かして表現を工夫しよう。 ・「帰れソレントへ」	・フレーズ ・速度の変化 ・カンツォーネ ・音楽の背景（地域について）	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背 景との関わりについて理解する。 ・曲想や雰囲気を理解し、音楽表現を工夫す る。
1月	7	三送会、卒業式のうた	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり ・パート練習の仕方 ・楽曲の基礎知識	・これまでの学習内容を総合的に生かして、 自主的に協力して取り組むことができる ようにする。 ・声部の役割を理解し、全体の響きを感じ取 って歌うようにさせる。
2月				
3月				